

②地域を特徴づける生態系の注目種

ア)カンムリワシ

カンムリワシに対する予測の手順を図-6.12.1.2(2)に示す。予測は、事業の内容、工事計画を点検し、以下に示す項目について実施するものとする。

<建設機械の稼働、資材及び機械の運搬に用いる車両の運行による生息状況の変化>

- ・空港本体工事最盛期における建設作業騒音予測レベル。
- ・野底林道整備事業、西表島大原の土地改良工事、石垣市西部の道路工事現場（佐野，2003年）の事例の引用による個体群の生息状況の変化の予測。
- ・オオタカの事例（ダム工事現場、平成13年，森本等）、アジサシの事例（Brawn, 1990）、カモメの一種の事例（Burger, 1981）の引用に基づく個体群の生息状況の変化の予測。
- ・工事車両の運行経路を、カンムリワシの非繁殖期における主要な採餌場となっている県道新川白保線を通らないよう調整することによる個体群の生息状況の変化の予測。

<航空障害灯の設置工事に伴う生息状況の変化>

- ・カタフタ山の繁殖つがいの営巣中心域（巣の利用と安全を確保するために必要な範囲）における航空障害灯設置工事を人力作業を基本とすることによる個体群の生息状況の変化の予測。

<環境保全配慮の実施>

南大東空港、北大東空港整備事業に伴う環境配慮策（騒音、振動、比放射能）の予測と対策の検討について予測した。予測に当たっては、事業の計画検討に当たって適する環境保全配慮である緑化を考慮した。

図6-12-1.2(2) カンムリワシの生息状況予測の手順